

内閣府平成 30 年度委託調査事業

学生の就職・採用活動開始時期等
に関する調査

調査結果（速報版・概要版）

2018 年 10 月

株式会社浜銀総合研究所

この調査結果（速報版）は、現時点における議論に資するよう作成するものであり、今後、有識者を交えた分析・検討、データの更なる精査を経て、調査結果報告書を作成することとしている。

調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、2018年度卒業・修了予定者の就職・採用選考活動の実態を把握することにより、来年度以降の就職・採用活動の円滑な実施に資することを目的として実施した。

(参考) 就職・採用活動開始時期の変更経緯(大学4年生の場合)

	広報活動開始	採用選考活動開始
2014年度卒業生	3年生 12月	4年生 4月
2015年度卒業生	3年生 3月	4年生 8月
2016年度卒業生	3年生 3月	4年生 6月
2017年度卒業生	3年生 3月	4年生 6月
2018年度卒業生	3年生 3月	4年生 6月

(2) 調査の実施方法

対象：大学4年生、大学院2年生

(医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科、海外からの留学生を除く。)

方法：インターネット調査。60程度の大学から所属対象学生に案内。

期間：2018年7月13日～8月10日(8月1日時点の状況を回答)

(3) 有効回答件数

大学4年生：7,575名

大学院2年生：2,268名

合計 9,843名

(注) この資料中、「2017年度調査」とあるのは、内閣府平成29年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2016年度調査」は、内閣府平成28年度委託事業「就職・採用活動開始時期変更に係る学生の就職活動等調査」、「2015年度調査」は、内閣府平成27年度委託調査事業「就職・採用活動開始時期の後ろ倒しに係る学生の就職活動等調査」を指す。なお、2016年度調査、2017年度調査、今年度調査は8月1日時点で実施しているが、2015年度調査は10月1日時点で実施した。

(注) 2015年度調査から2017年度調査については、原則として大学4年生と大学院2年生の集計を別々に行っていたが、本調査では、大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計も行い、結果を掲載した。なお、大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計を行う際には、学校基本調査の在学者数を基にしたウエイトによりデータの補正を行っている。2015年度調査から2017年度調査の結果についても同様の方法により集計を行い、経年的な変化を把握した。

(注) 原則として「就職活動を行った(終えた)」「就職活動を行っている(継続している)」と回答した者が集計対象であるが、一部の回答者を除いて集計をしている設問がある。インターンシップに関する設問には「これから就職活動を行う予定である」と回答した者も集計対象に含んでいる。

要旨

学修時間確保の状況

- ・学修時間を「確保できた」との回答割合は、広報活動開始時期前の2月までは8割以上の水準と高くなっている。(p.5)
- ・3月以降の時期に「確保できた」との回答割合は、2015年度～2017年度と比較して今年度の方が高い。(p.5)

就職活動時期・期間

- ・業界や企業に関する分析を開始した時期は、今年度は2月以前の回答割合が増加し、全体的に時期が若干早まっている。(p.7)
- ・また、企業説明会やセミナー等への参加時期、エントリーシート提出の時期、採用面接の実施時期、内々定を受けた時期のいずれについても、全体的に時期が若干早まっている。(p.9,p.12,p.15,p.18)

説明会等への参加回数やエントリーシート提出数等

- ・企業説明会やセミナー等への参加回数、エントリーシートの提出数、採用面接を受けた企業数のいずれについても、2015年度～2017年度に比べ、より少ない件数であった者の割合が増えている。(p.11,p.14,p.17)

企業による学生の学業等への配慮

- ・説明会や面接等の日程に関して企業から配慮がなされていたと回答した割合は、2016年度・2017年よりも今年度の方が高くなっている。(p.21)
- ・特に教育実習受講者への配慮について、教育実習の妨げにならないよう説明会や面接等の日程について配慮されていたとの回答割合も高まっている。(p.23)

インターンシップの参加状況

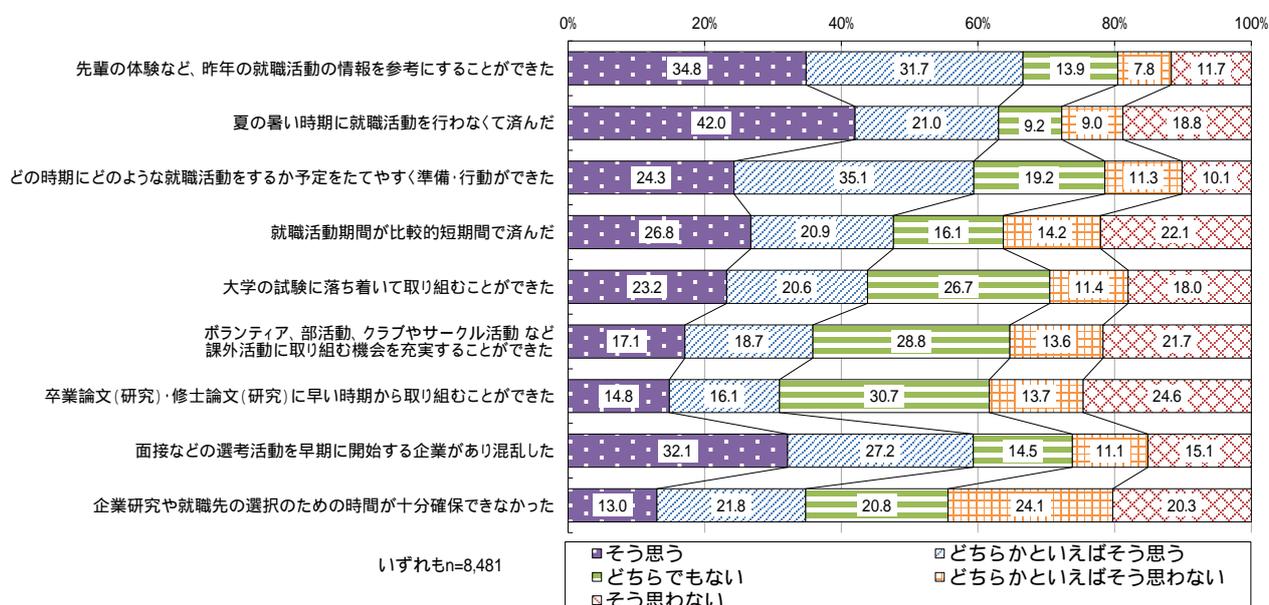
- ・今年度は7割以上がインターンシップに参加したことがあると回答しており、この割合は年々増加している。(p.24)
- ・特に1日間のインターンシップに参加した者の割合が増えている。(p.26)

就職活動時期に関する認識

就職活動時期が昨年度と同様の時期に設定されたことについて、「先輩の体験など、昨年度の就職活動の情報を参考にすることができた」や「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」などの点で、「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答する割合が6割以上と高かった一方で、「選考活動を早期に開始する企業があり混乱した」点についても同様の回答割合が高かった。

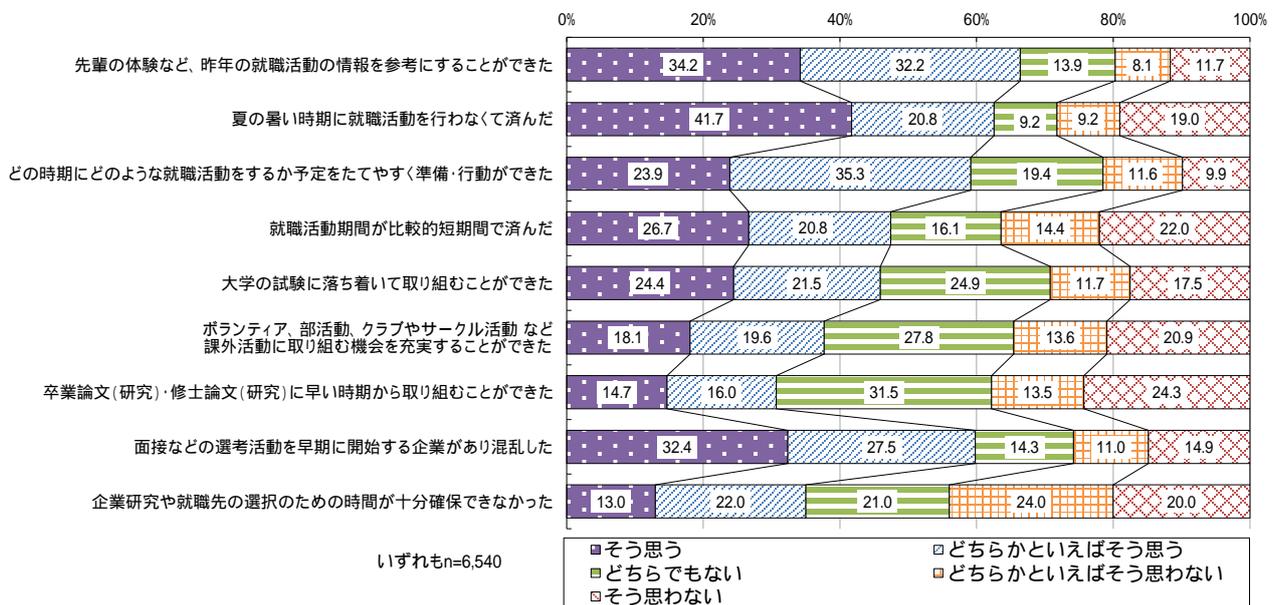
調査項目	大学4年生・大学院2年生全体の回答	
	「そう思う」+ 「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」+ 「どちらかといえばそう思わない」
昨年の就職活動の情報を参考にすることができた	66.5%	19.5%
夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ	63.0%	27.8%
予定をたてやすく準備・行動ができた	59.4%	21.4%
就職活動期間が比較的短期間で済んだ	47.7%	36.3%
選考活動を早期に開始する企業があり混乱した	59.3%	26.2%

(大学4年生・大学院2年生)

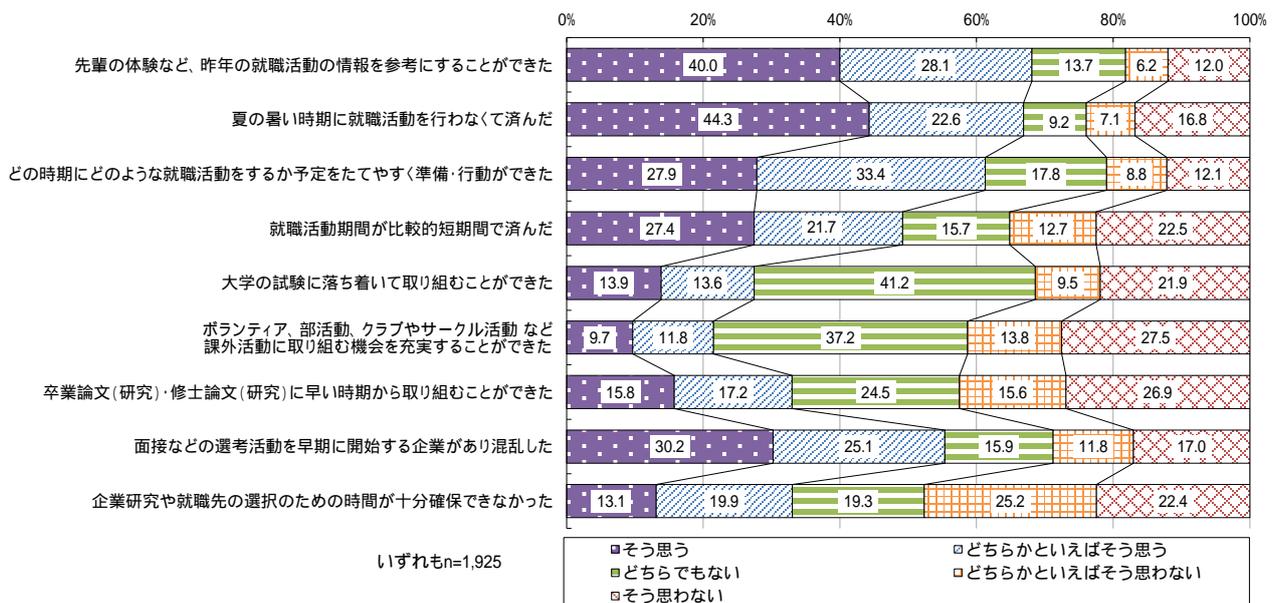


調査項目	大学4年生の回答		大学院2年生の回答	
	「そう思う」+ 「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」+「どちらか といえばそう思わない」	「そう思う」+ 「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」+「どちらか といえばそう思わない」
昨年の就職活動の情報を参考にすることができた	66.4%	19.8%	68.1%	18.2%
夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ	62.5%	28.2%	66.9%	23.9%
予定をたてやすく準備・行動ができた	59.2%	21.5%	61.3%	20.9%
就職活動期間が比較的短期間で済んだ	47.5%	36.4%	49.1%	35.2%
選考活動を早期に開始する企業があり混乱した	59.9%	25.9%	55.3%	28.8%

(大学4年生)



(大学院2年生)

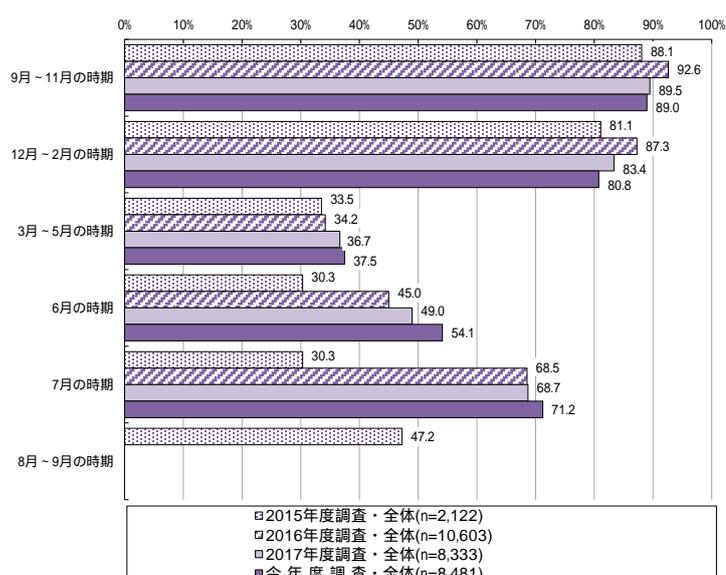
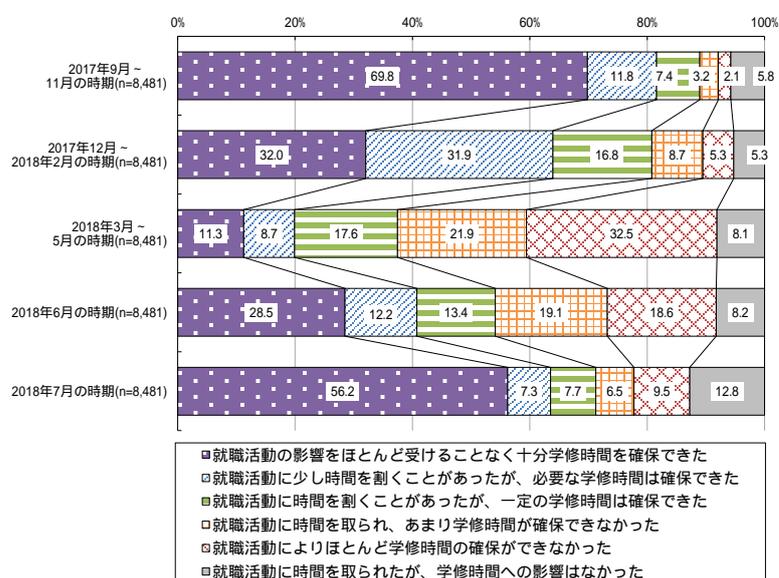


就職活動と学修時間確保の状況

「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合は、広報活動開始時期前の2月までは8割以上と高くなっており、広報活動開始時期後の3月～5月には4割以下まで低下しているものの、採用・選考活動開始時期後の6月は約5割、7月は約7割まで高くなっている。

採用・選考活動開始時期が8月とされていた2015年度と比較すると、6月・7月に学修時間が確保できたと回答した割合が2倍程度の時期もあるなど高くなっている。2016年度・2017年度と比較しても、3月以降は今年度の方が高くなっている。

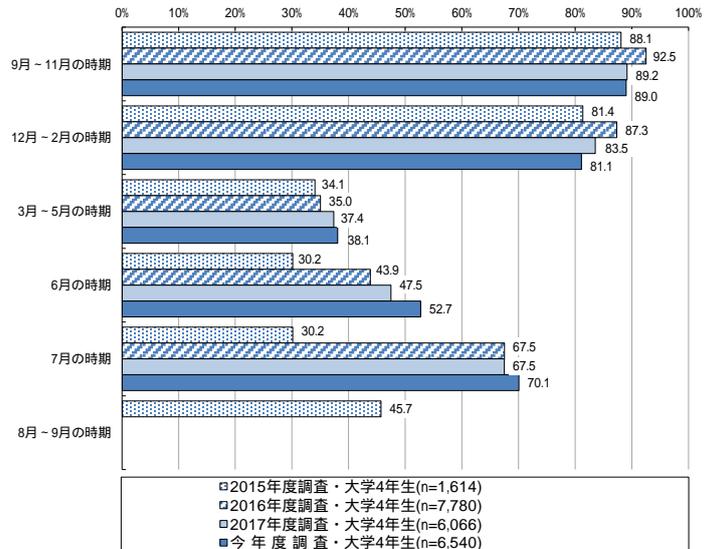
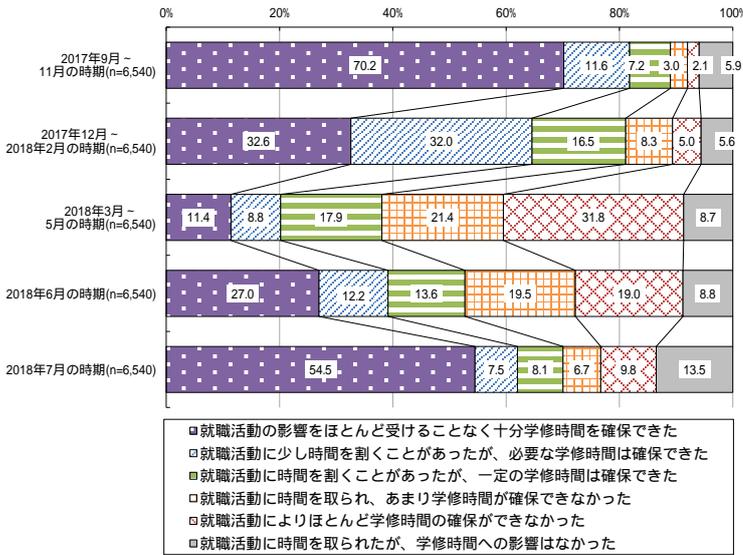
(大学4年生・大学院2年生)



「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

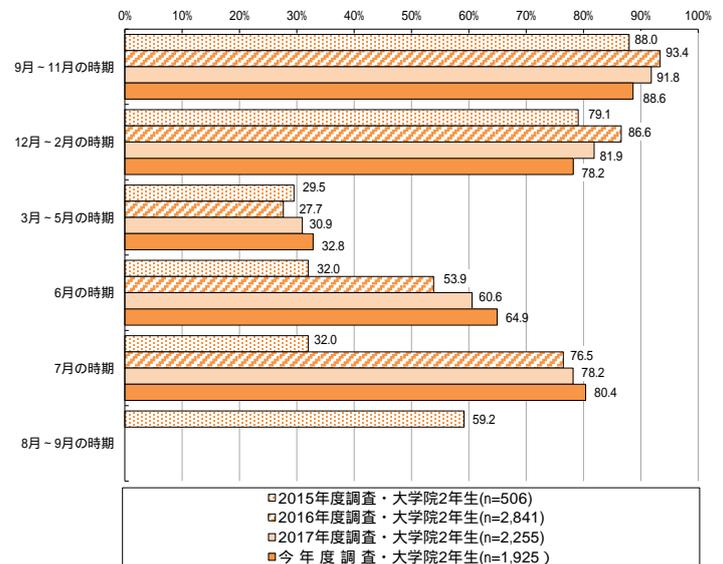
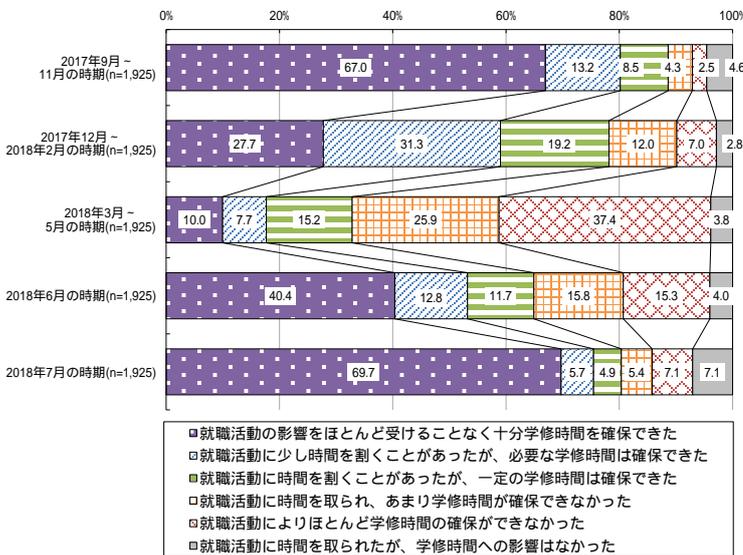
「6月の時期」「7月の時期」は、2015年度は「6月～7月の時期」として調査を実施(図表にはそれぞれ同じ値を掲載)

(大学4年生)



「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合
 「6月の時期」「7月の時期」は、2015年度は「6月～7月の時期」として調査を実施(図表にはそれぞれ同じ値を掲載)

(大学院2年生)

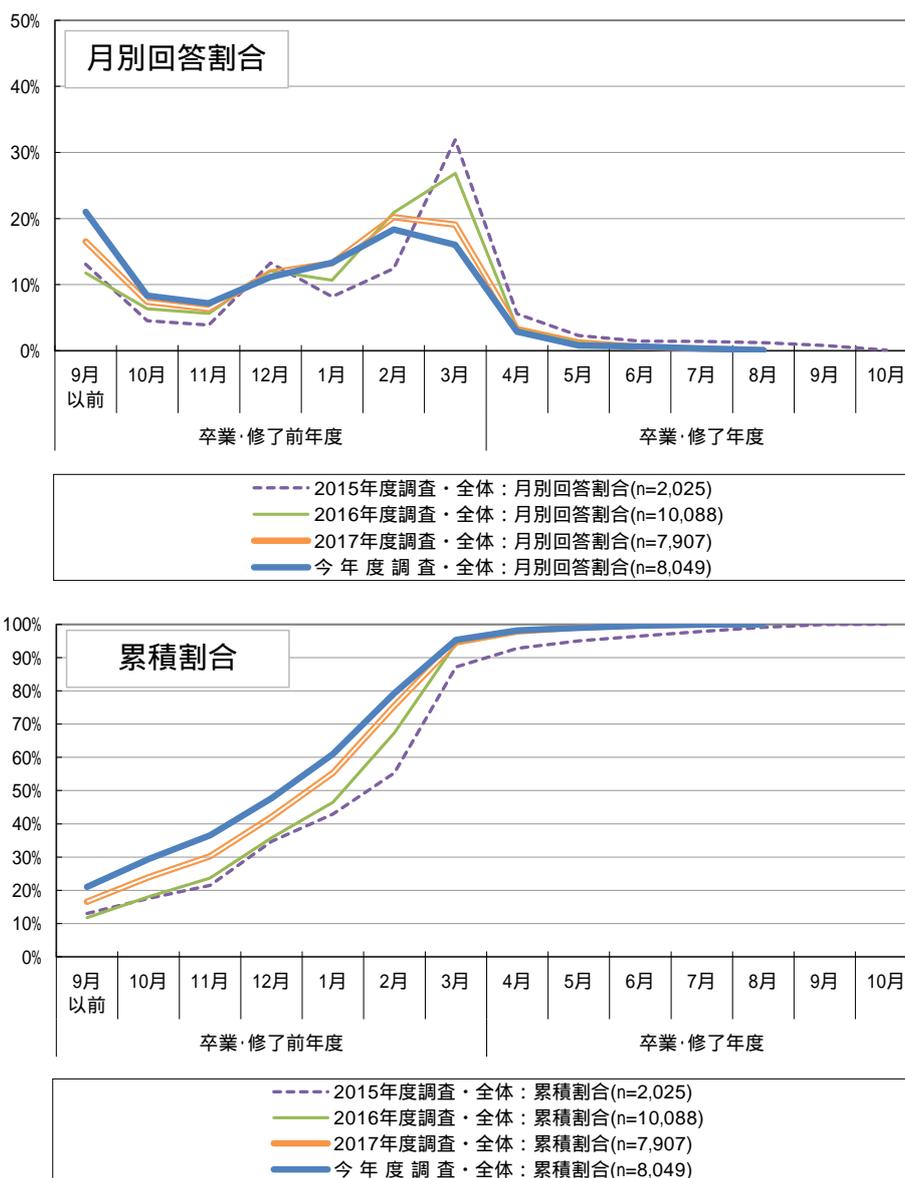


「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合
 「6月の時期」「7月の時期」は、2015年度は「6月～7月の時期」として調査を実施(図表にはそれぞれ同じ値を掲載)

業界や企業に関する分析を開始した時期

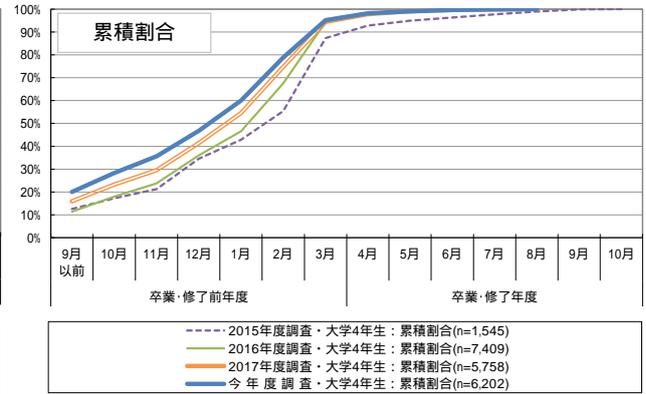
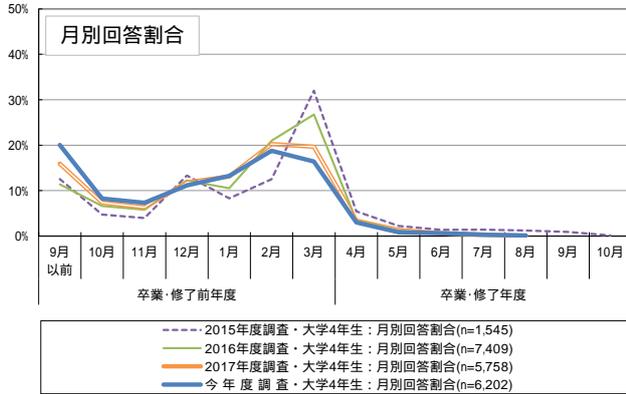
業界や企業に関する分析を開始した時期について、9月以前との回答割合が最も高くなっている。広報活動開始時期前の2月以前の回答割合が増加し、全体的に時期が若干早まっている。

(大学4年生・大学院2年生)

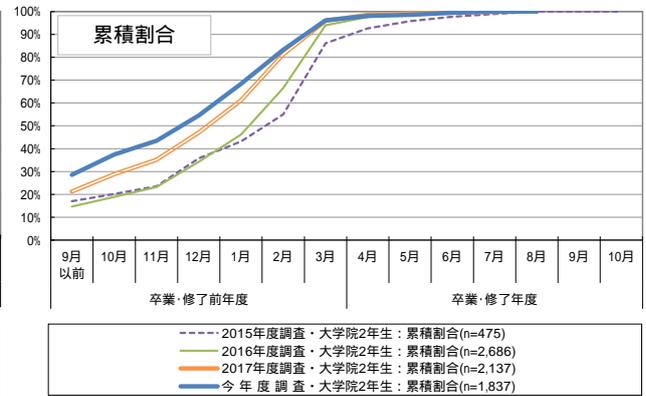
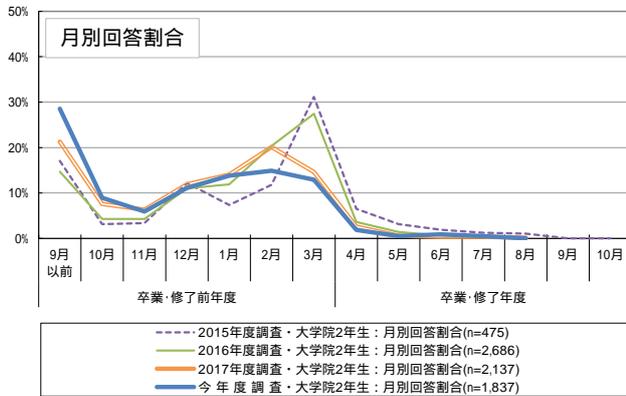


(注) 業界や企業に関する分析について「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外としている。

(大学4年生)



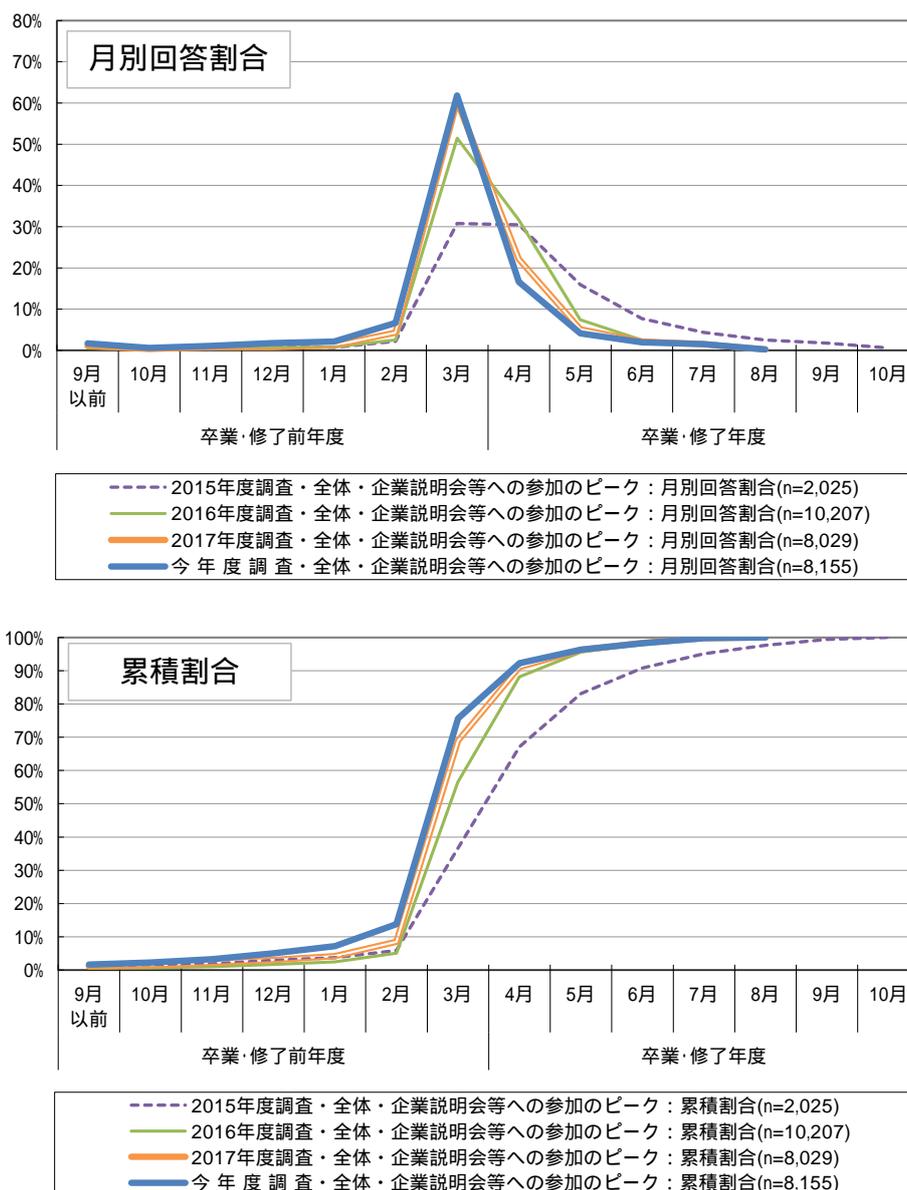
(大学院2年生)



企業説明会やセミナー等への参加時期

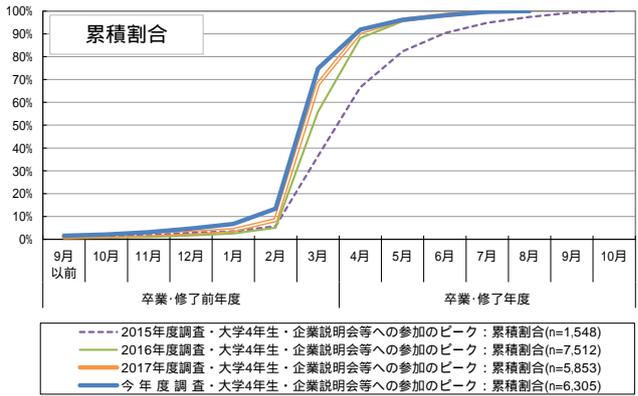
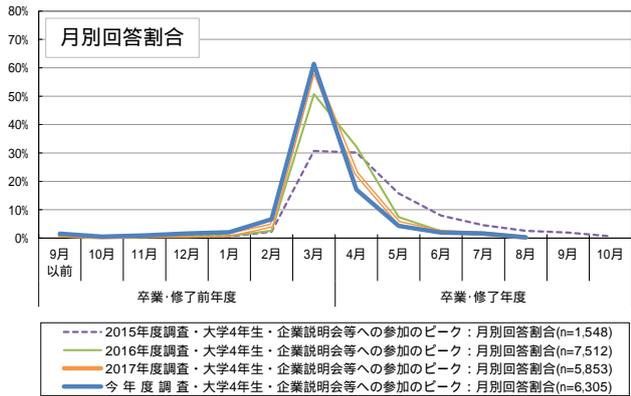
企業説明会やセミナー等への参加のピークの時期について、広報活動開始時期である3月と回答する学生の割合が最も高く、全体的に時期が若干早まっている。

(大学4年生・大学院2年生)

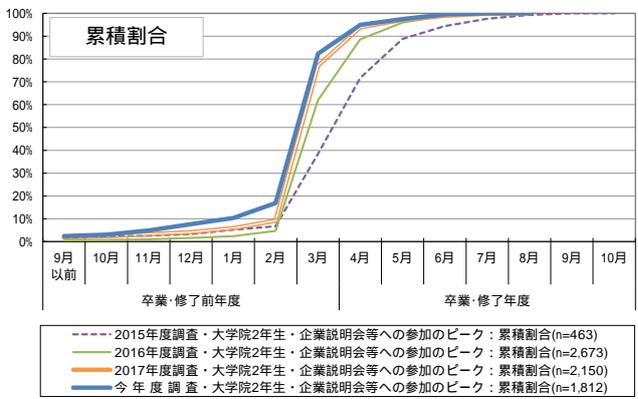
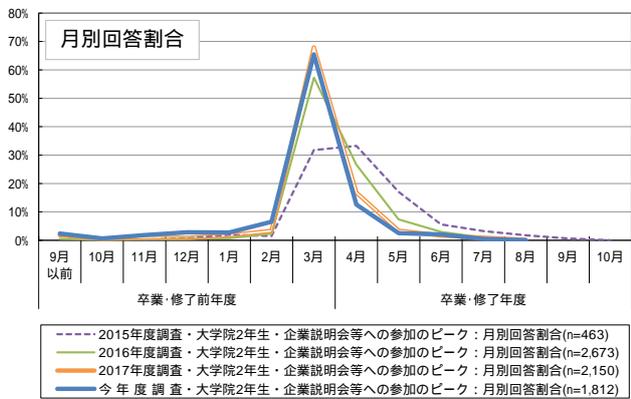


(注) 企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は、集計の対象外としている。

(大学4年生)



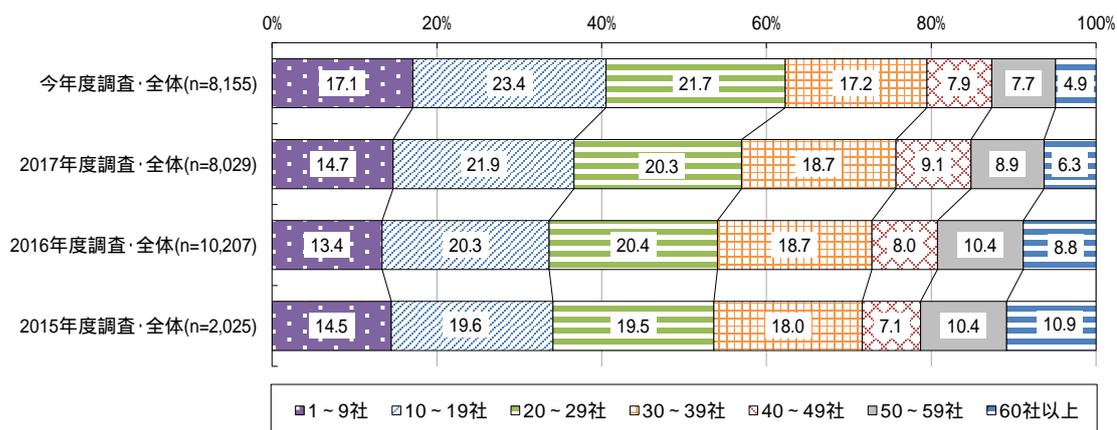
(大学院2年生)



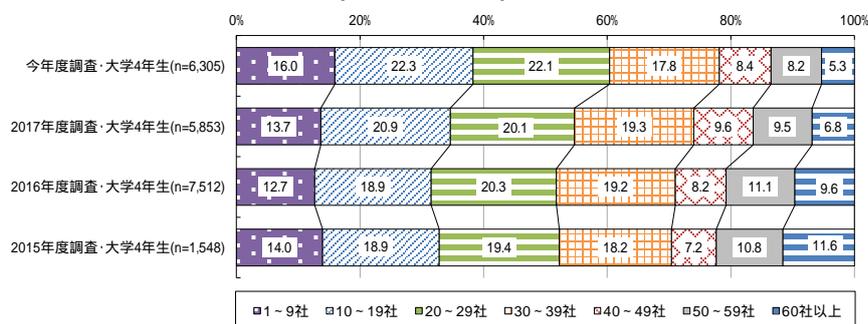
企業説明会やセミナー等への参加回数

企業説明会やセミナー等に参加した回数について、10～19社に該当する者の割合が最も高くなっている。20社未満の回答割合が約4割、30社未満の回答は約6割であり、2015年度～2017年度に比べ、より少ない回数であった者の割合が増えている。

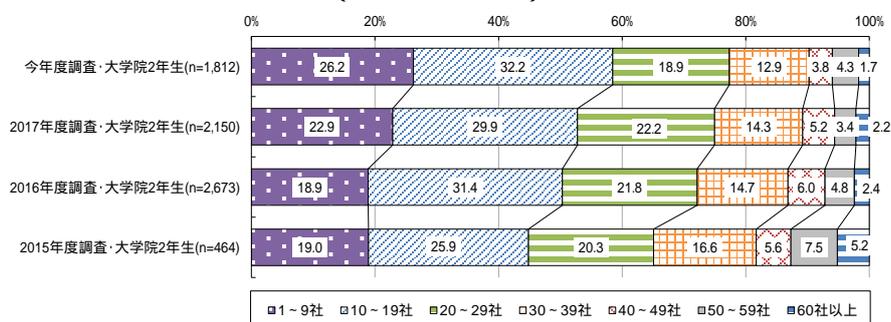
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)

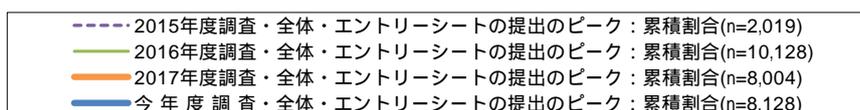
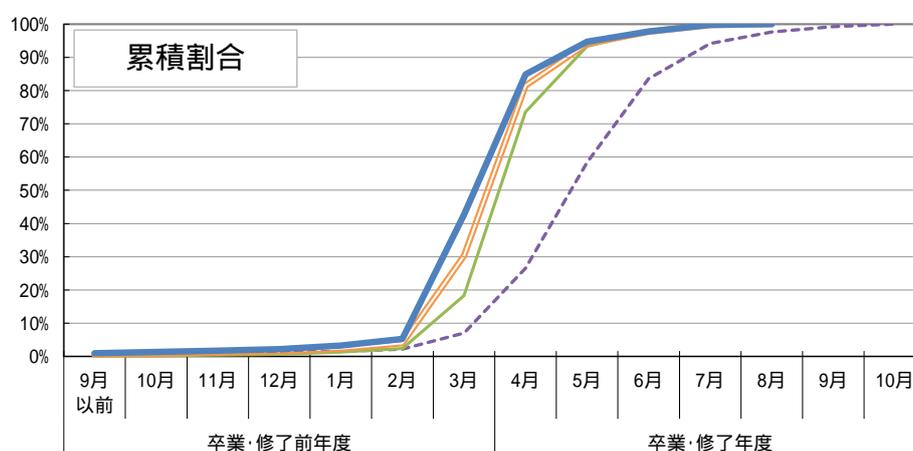
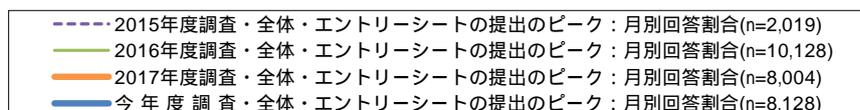
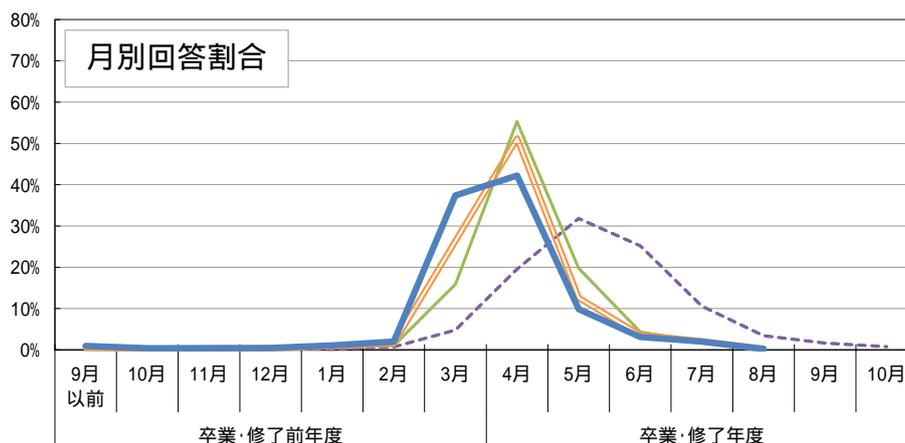


(注) 企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は、集計の対象外としている。

エントリーシート提出の時期

エントリーシート提出のピークの時期について、4月の回答割合が最も高いが、広報活動開始時期後の3月との回答割合が増加しており、全体的に時期が若干早まっている。

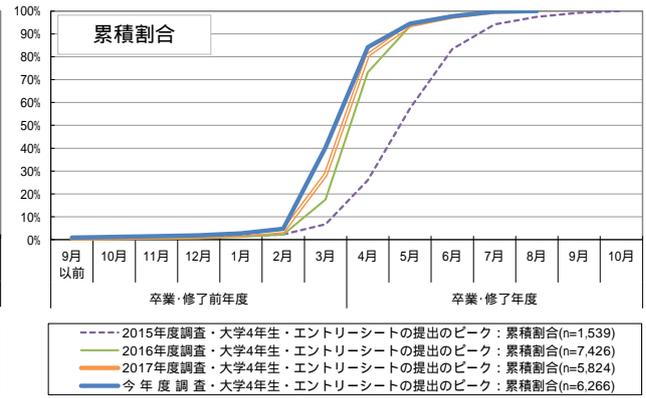
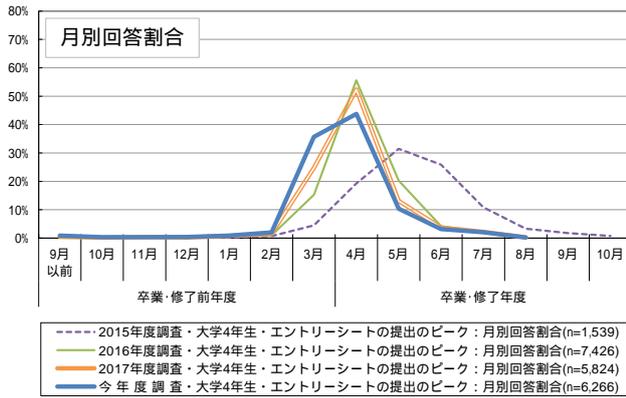
(大学4年生・大学院2年生)



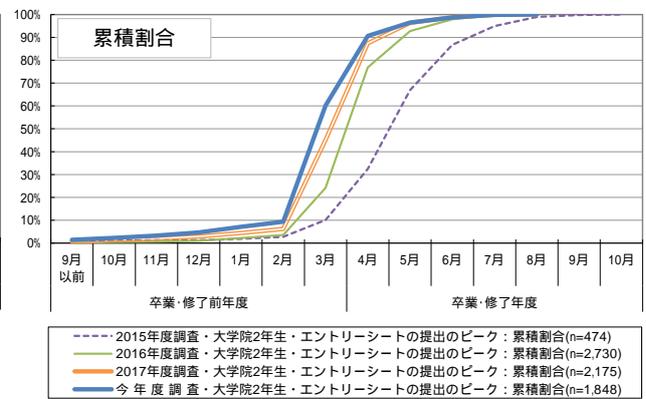
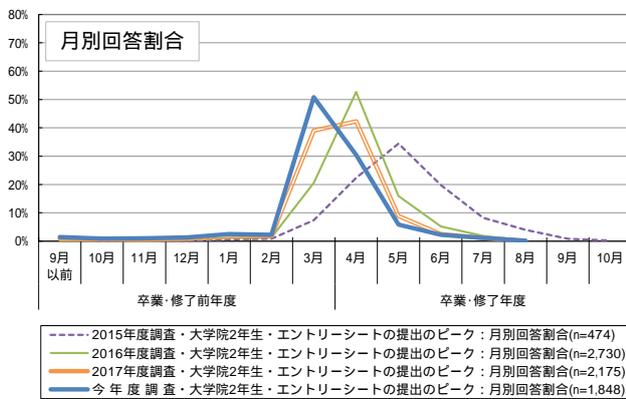
(注1) エントリーシートの提出を「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外としている。

(注2) エントリーシートの提出とは、企業や官公庁などの採用選考に参加するための応募シートを提出することを指すものとし、就職情報会社のサイト等への登録のみの場合は提出数に入れないように、回答者に案内した上で調査を行った。

(大学4年生)



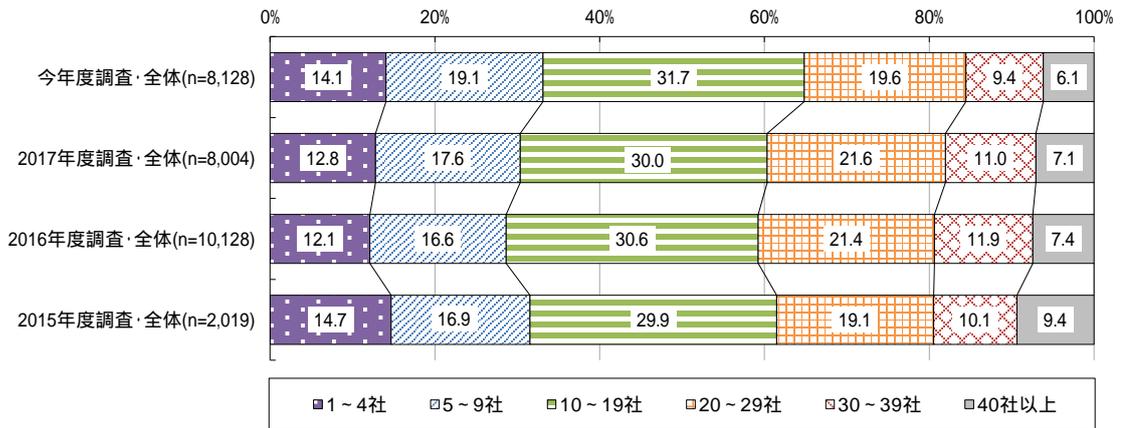
(大学院2年生)



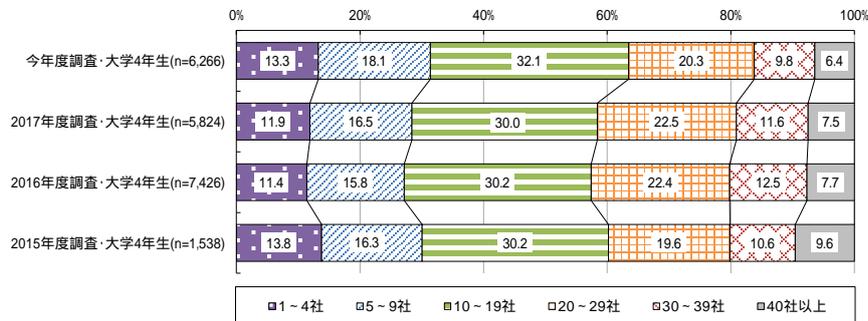
エントリーシートの提出数

エントリーシートの提出数について、10～19社に該当する者の割合が最も高くなっている。10社未満の回答割合が約3割、20社未満の割合は約6割であり、2015年度～2017年度に比べ、より少ない件数であった者の割合が増えている。

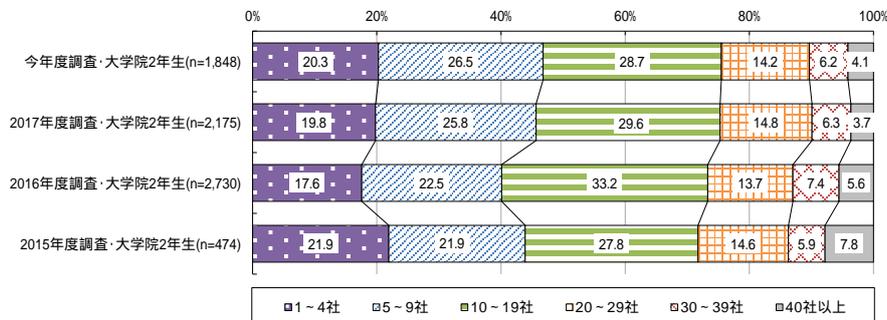
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



(注) エントリーシートの提出を「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外としている。

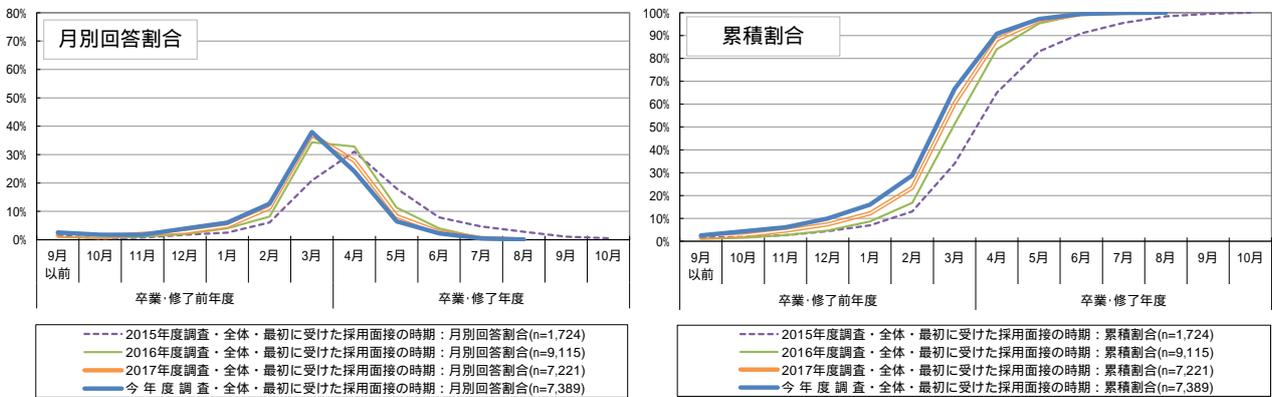
採用面接の実施時期

最初に採用面接を受けた時期は、広報活動開始時期である3月との回答割合が約4割で最も高く、次いで4月が約3割と高い。採用面接のピークは、最も回答割合が高い月が採用・選考活動開始時期である6月の前にきており、5月との回答割合が約4割で最も高く、次いで4月との回答割合が約3割と高い。最後に面接を受けた時期は、採用・選考活動開始時期である6月に約5割と最も高くなっている。

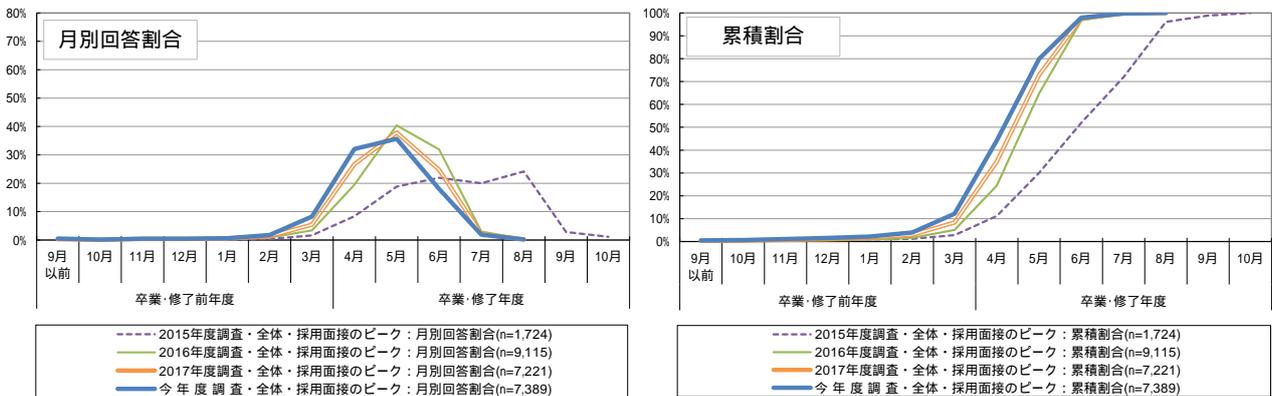
最初に採用面接を受けた時期、採用面接のピーク、最後に面接を受けた時期のいずれも、全体的に時期が若干早まっている。

(大学4年生・大学院2年生)

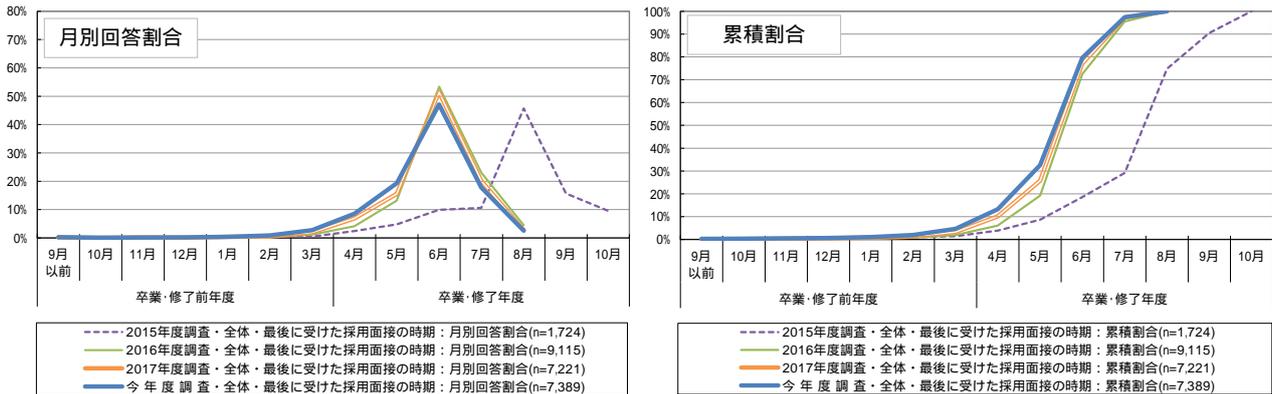
<最初に受けた時期>



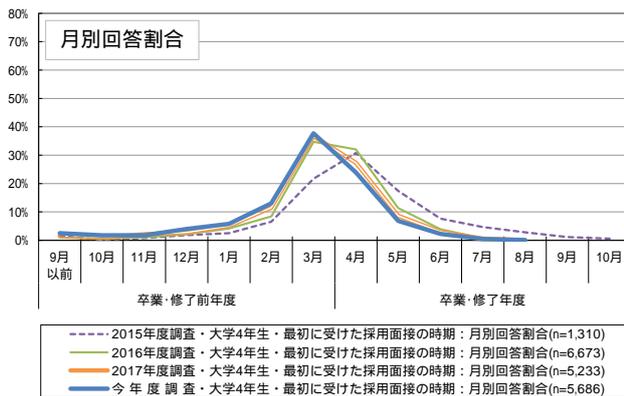
<採用面接のピーク>



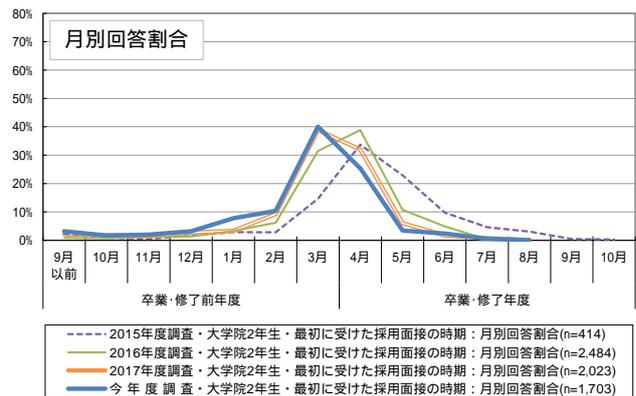
<最後に受けた時期>



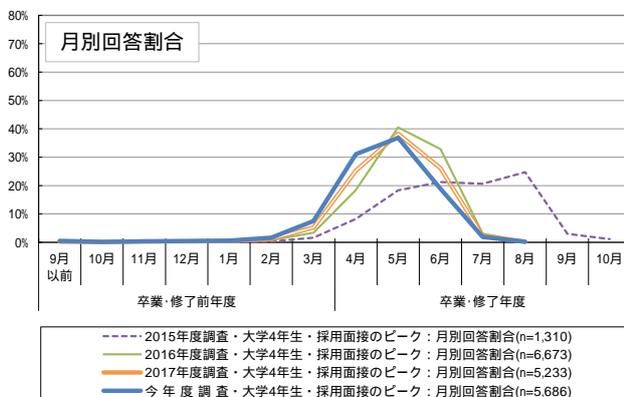
< 大学4年生・最初に受けた時期 >



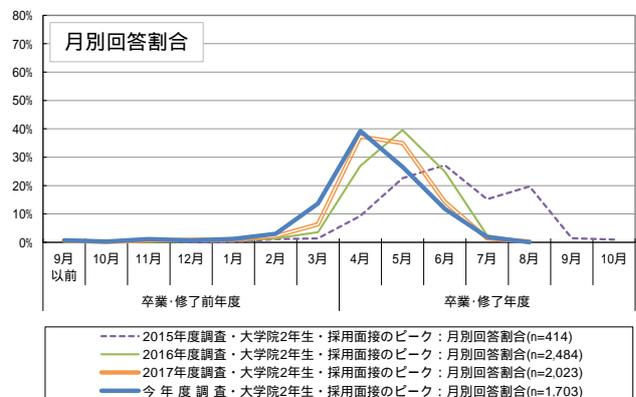
< 大学院2年生・最初に受けた時期 >



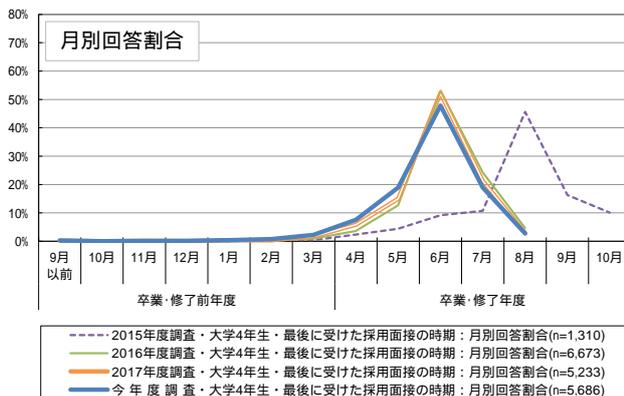
< 大学4年生・採用面接のピーク >



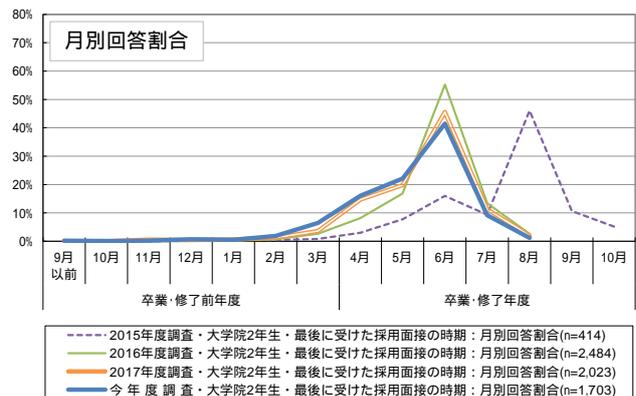
< 大学院2年生・採用面接のピーク >



< 大学4年生・最後に受けた時期 >



< 大学院2年生・最後に受けた時期 >



(注1) 採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外としている。

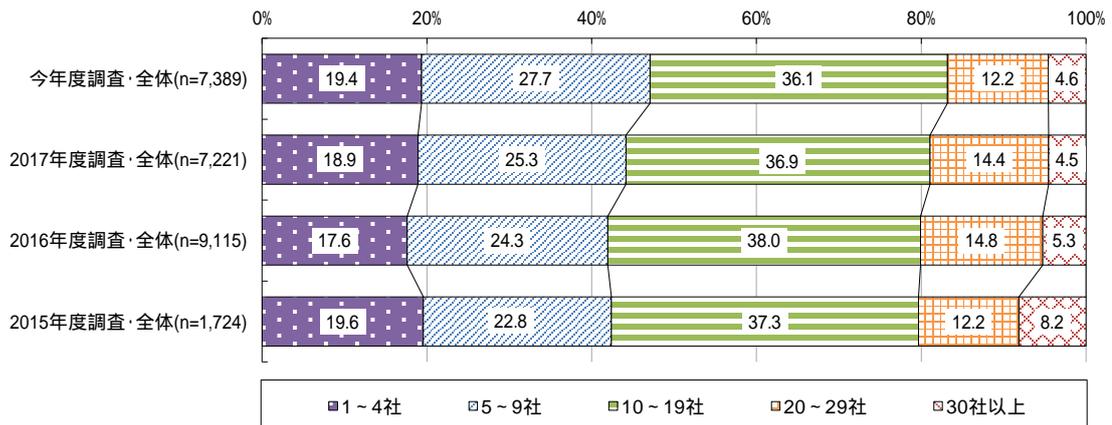
(注2) 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点において採用の面接等が行われていないと想定されたことから、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

(注3) 「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に「採用面接」だと感じた場合は、当該接触を「採用面接」と考えて回答いただくよう案内した上で調査を行った。

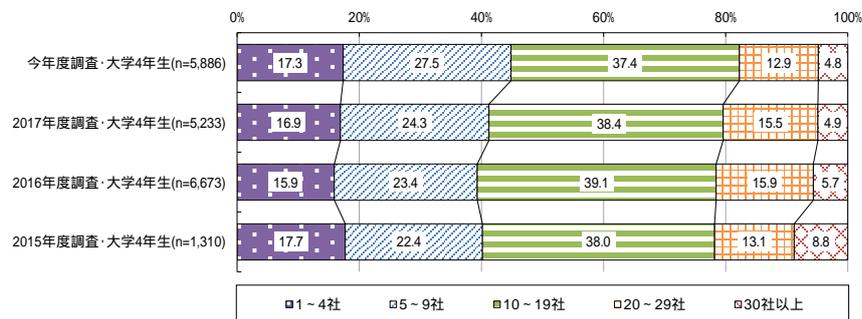
採用面接を受けた企業数

採用面接を受けた企業数について、10～19社に該当する者の割合が最も高くなっている。10社未満の回答割合が約5割、20社未満の割合は約8割であり、2015年度～2017年度に比べ、より少ない件数であった者の割合が増えている。

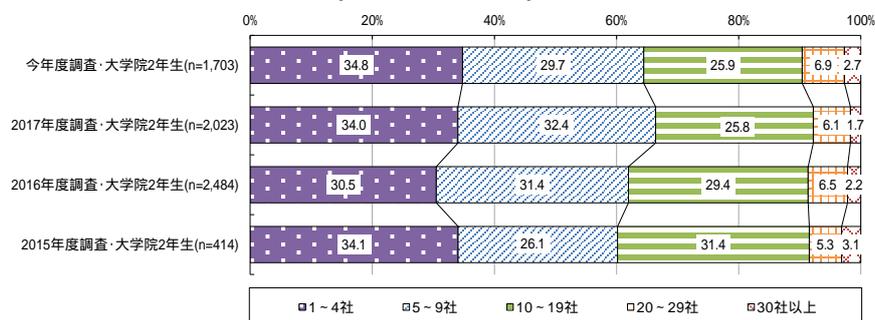
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



(注1) 採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外としている。

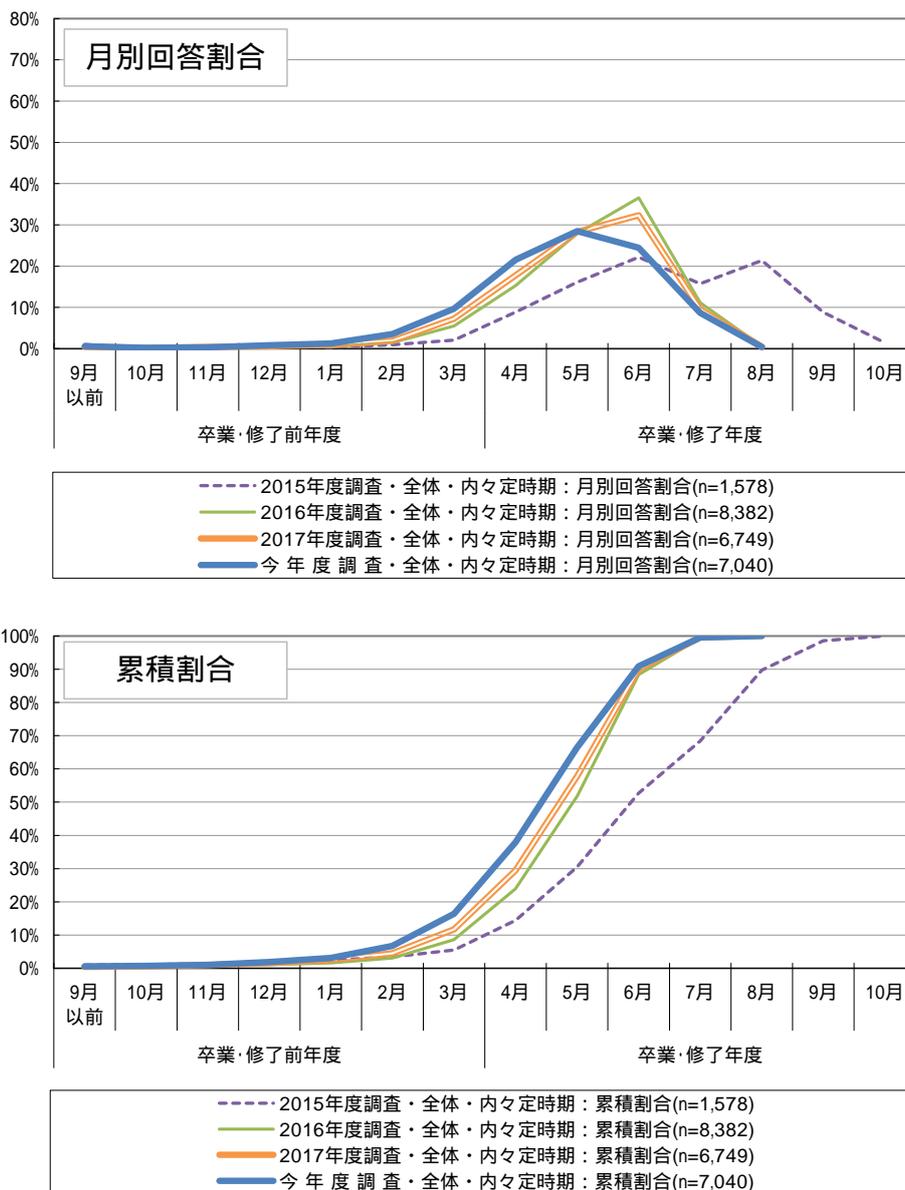
(注2) 公務員や教職員志望者は除いて集計した。

内々定を受けた時期

内々定を受けた時期は、今年度は最も回答割合が高い月が採用・選考活動開始時期である6月の前にきており、5月との回答割合が約3割となっている。

2016年度・2017年度調査では回答割合が最も高い月は6月であり、今年度調査では時期が若干早まっている。

(大学4年生・大学院2年生)

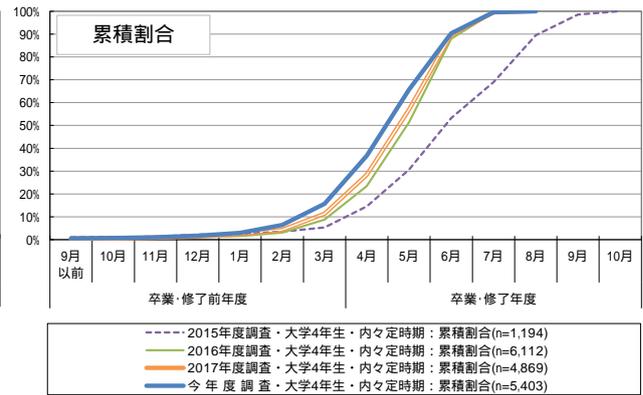
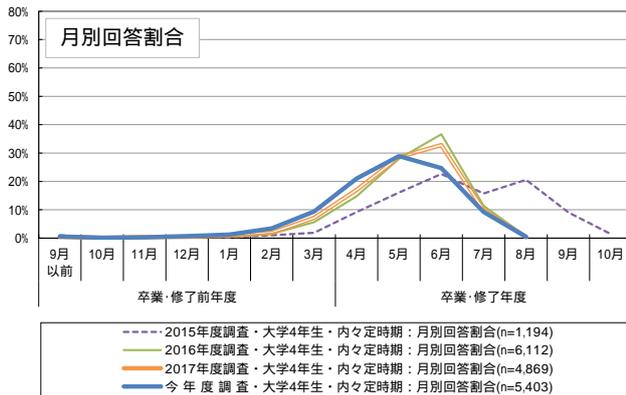


(注1) 内々定を受けていないと回答した者は集計の対象外としている。

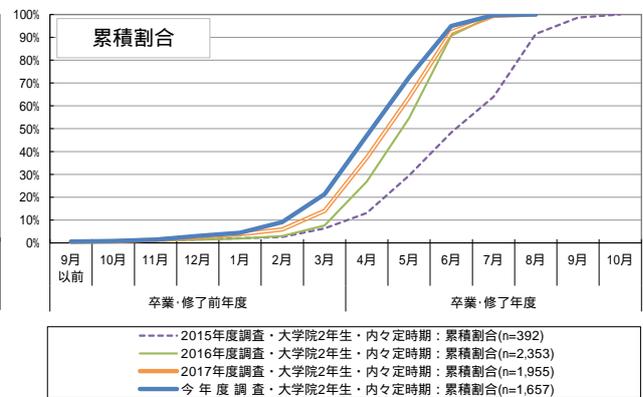
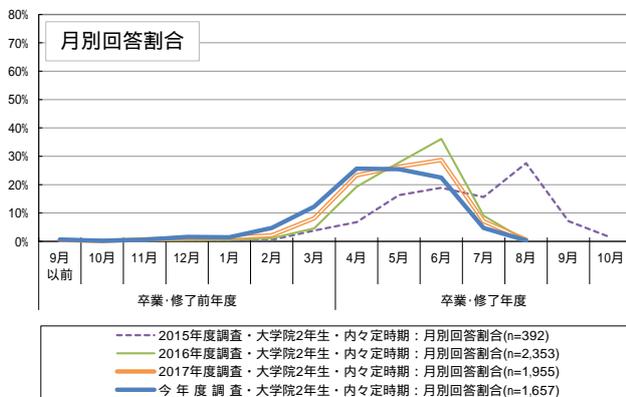
(注2) 公務員や教職員志望者は除いて集計した。

(注3) 1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。

(大学4年生)



(大学院2年生)

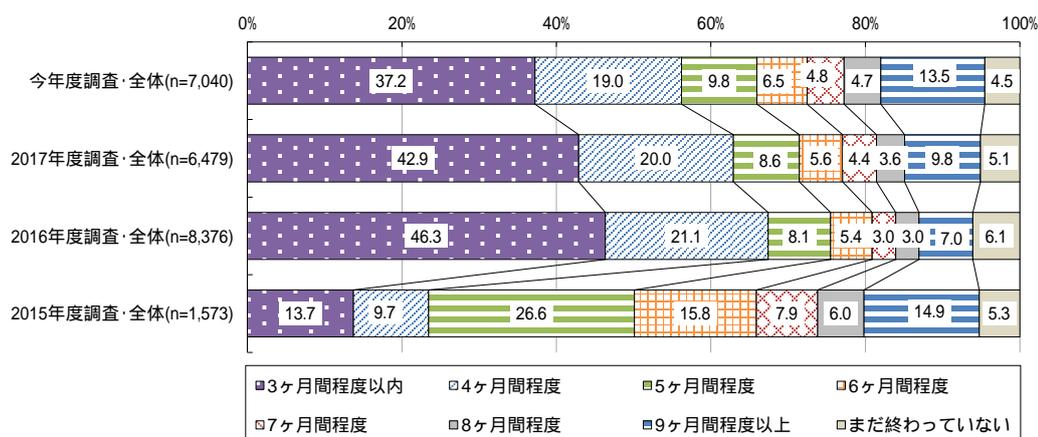


就職活動の始まりから終わりまでの期間

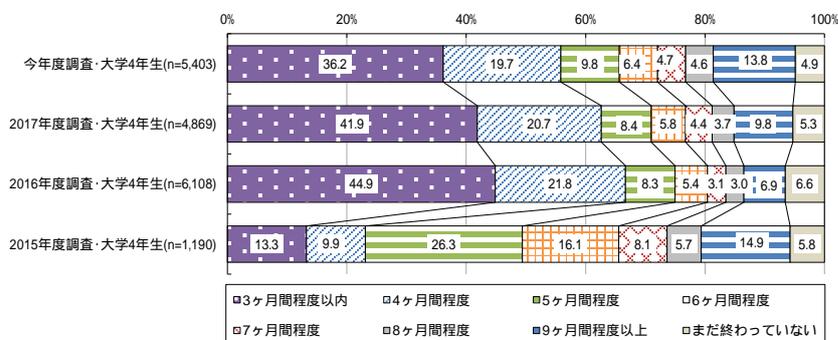
就職活動の始まりから終わりまでの期間について、「3ヶ月間程度以内」の回答割合が最も高く、採用・選考活動開始時期が8月とされていた2015年度と比較するとより短い期間で就職活動を終えている傾向が見られる。

ただし、2016年度・2017年度と比較すると、より短い期間で就職活動を終えている者の割合は若干減っている。

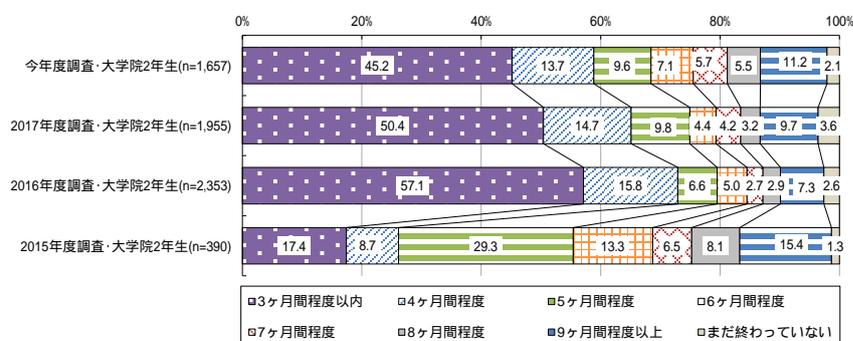
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



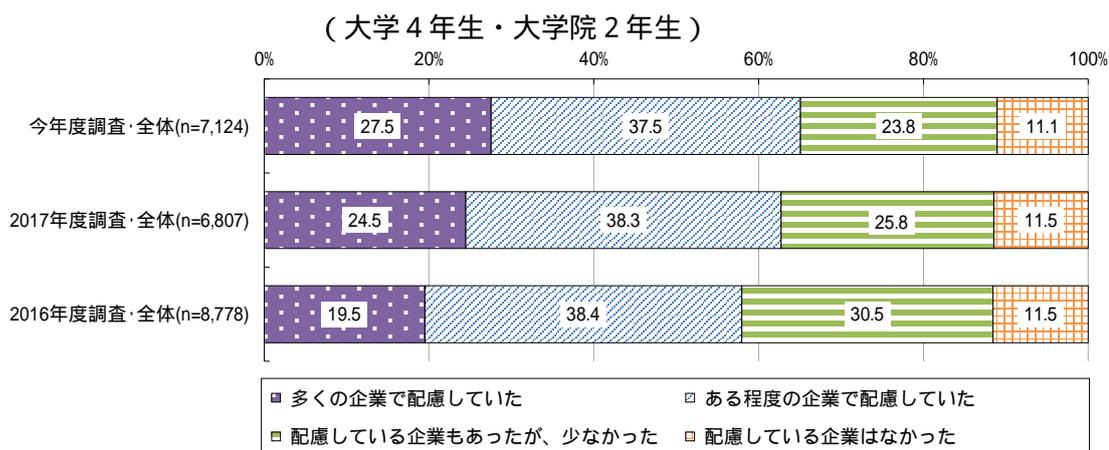
(注1) 公務員や教職員志望者は除いて集計した。

(注2) 「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」の間の期間を集計しており、例えば始まったと考える時期を「3月」、終わったと考える時期を「6月」と回答した場合は、「3ヶ月間程度」として集計している。

企業による学生の学業等への配慮

学生の学業等への配慮について、「よくわからない」と回答した者を除くと、約7割が多くの企業又はある程度の企業で、説明会や面接等の日程に関して配慮がされていたと回答しており、2016年度・2017年度に比べ、この割合は若干増加している。

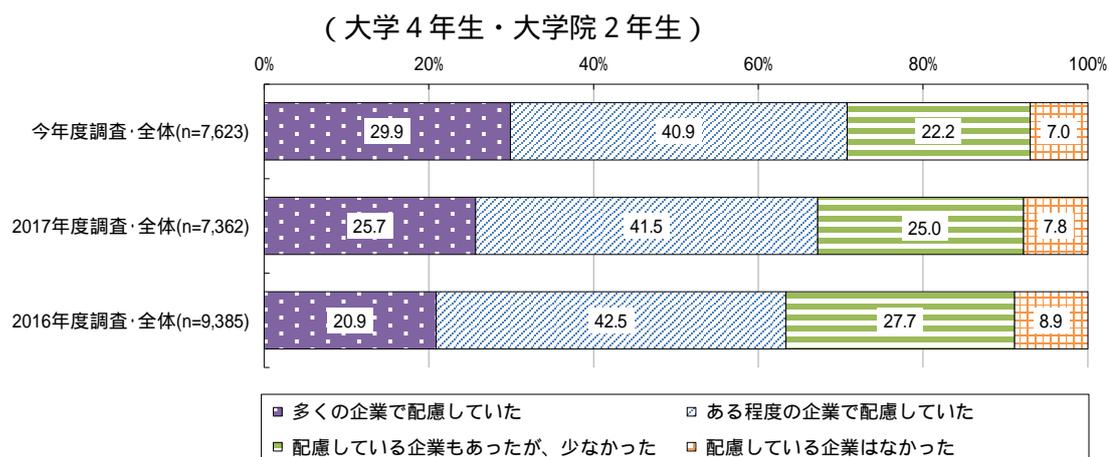
説明会や面接等の日程・時間帯等



(注1) 就職活動を行った企業について、「説明会や面接等の日程・時間帯等について、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、時間の設定などの配慮をしていましたか」という設問への回答で、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

(注2) 2015年度は当該設問について調査を実施していない。

個別の面接日時等

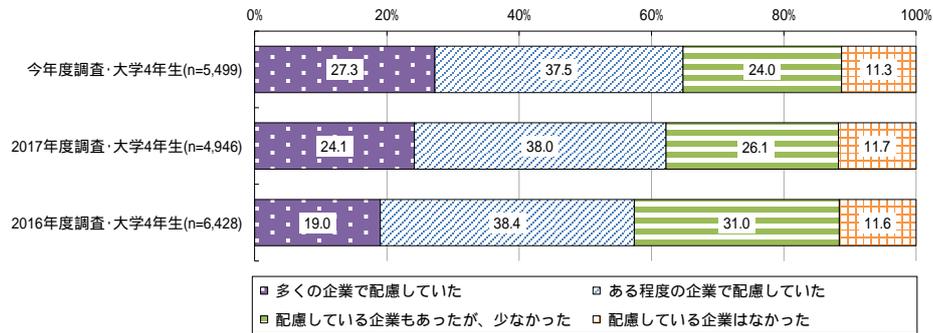


(注1) 就職活動を行った企業について、「個別の面接日時等の設定に当たり、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、連絡が余裕をもって行われたり、土日や平日夕方などの対応があったり、日程の候補が複数提示されたり、学生の要望を聞いたりするなどの配慮がありましたか」という設問への回答で、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

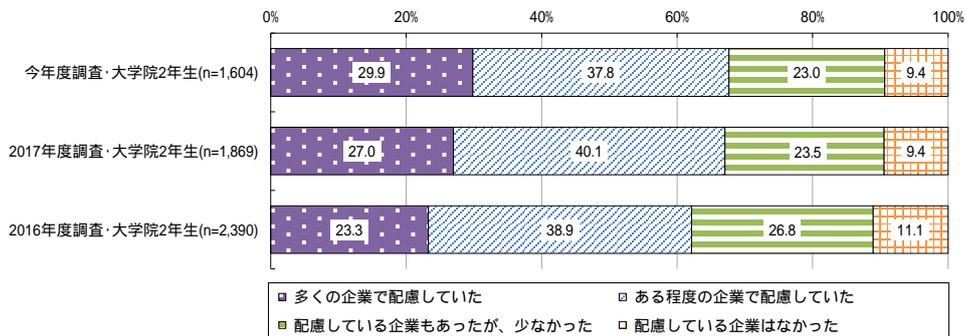
(注2) 2015年度は当該設問について調査を実施していない。

説明会や面接等の日程・時間帯等

(大学4年生)

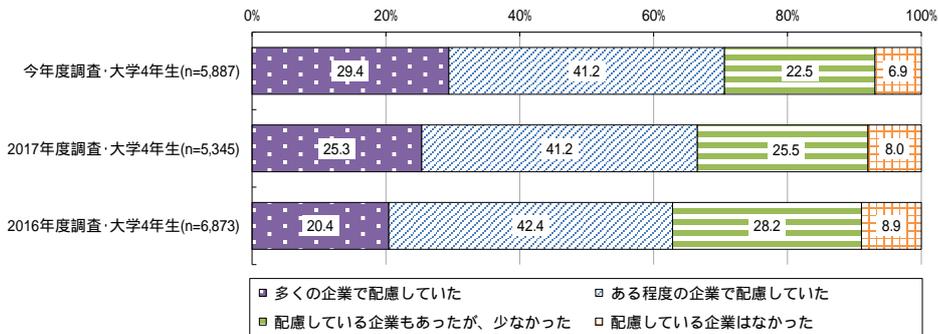


(大学院2年生)

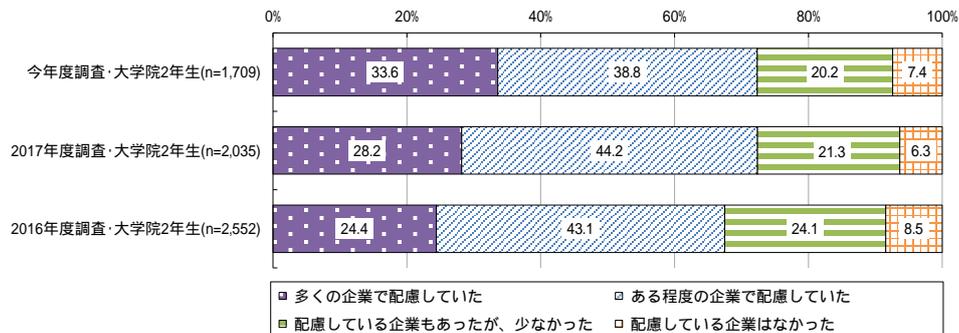


個別の面接日時等

(大学4年生)

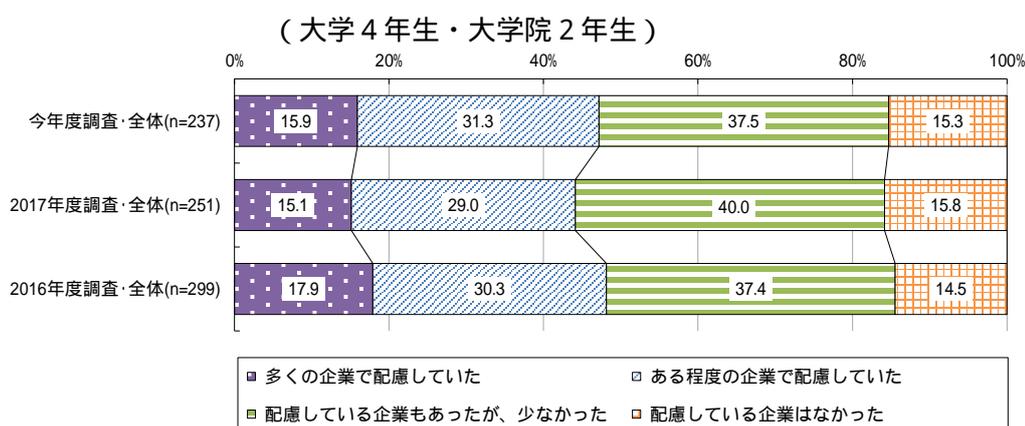


(大学院2年生)



企業による留学経験者への配慮

実際に就職・採用活動時期に留学を行った学生のうち、「わからない」と回答した者を除くと、約5割が多くの企業又はある程度の企業で、留学により不利にならないよう留学経験者向けのスケジュールや情報を別途示すなど配慮されていたと回答しており、この割合は2016年度・2017年度と同程度となっている。

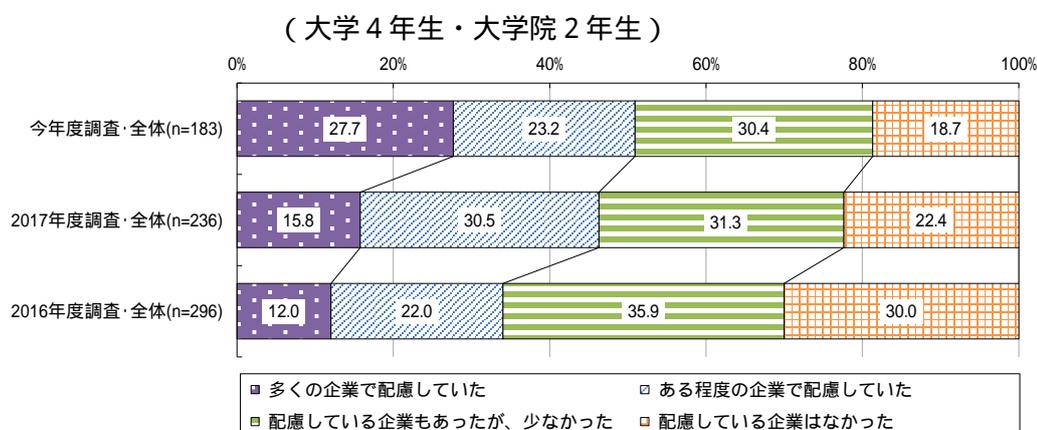


(注1) あなたが就職を希望した企業は、企業側から留学経験者向けのスケジュール・情報を別途示すなど、留学により不利にならないよう配慮していましたか」という設問への回答で、「留学経験者であることを特に意識せず就職活動を行ったため、わからない」と回答した者は除いて集計した。

(注2) 2015年度は当該設問について調査を実施していない。

企業による教育実習受講者への配慮

実際に就職・採用活動時期に教育実習を受けた学生のうち、「わからない」と回答した者を除くと、約5割が多くの企業又はある程度の企業で、教育実習の妨げにならないよう説明会や面接等の日程や時間等に配慮されていたと回答しており、2016年度・2017年度に比べ、この割合は若干増加している。

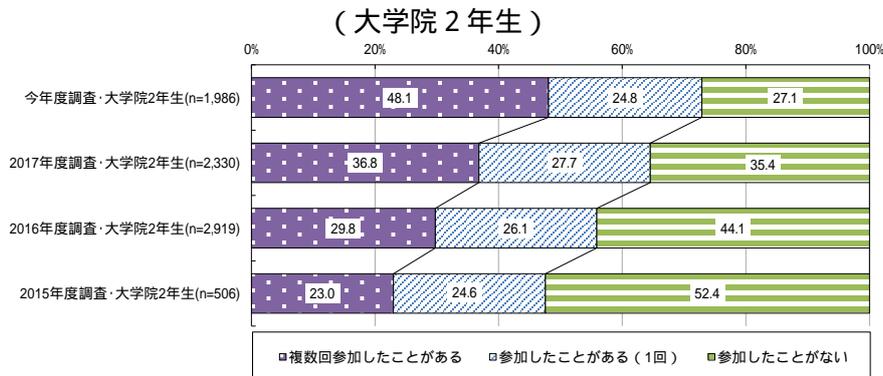
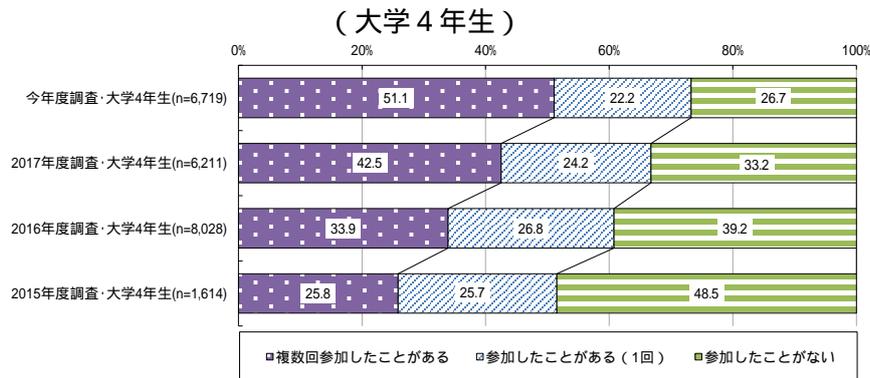
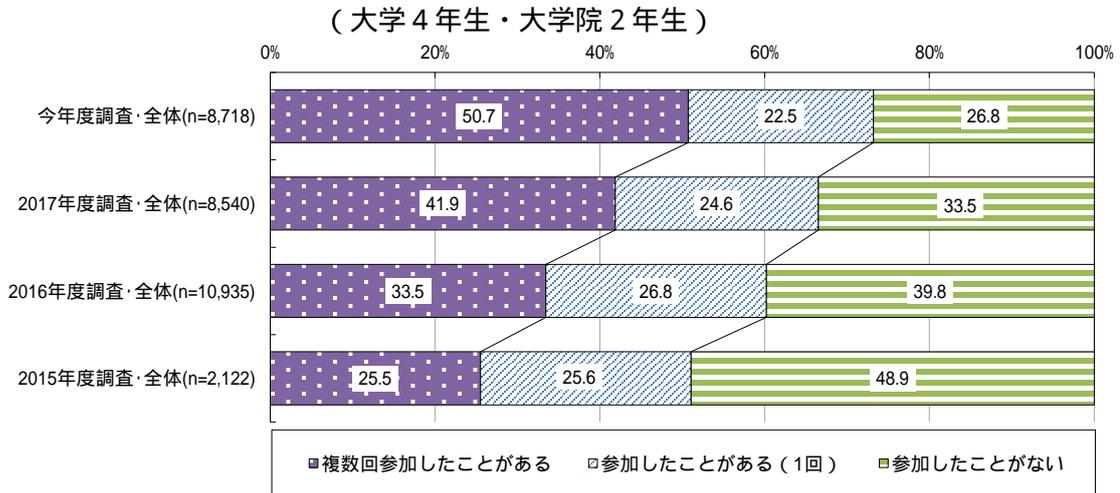


(注1) 「あなたが就職を希望した企業は、就職活動が教育実習の妨げにならないよう、説明会や面接等の日程・時間帯等に配慮していましたか。」という設問への回答で、「教育実習期間中に就職活動を行っていないため、わからない」と回答した者は除いて集計した。

(注2) 2015年度は当該設問について調査を実施していない。

インターンシップ参加経験の有無

今年度は7割以上がインターンシップに参加したことがあると回答しており、2015年度以降、この回答割合は増加している。

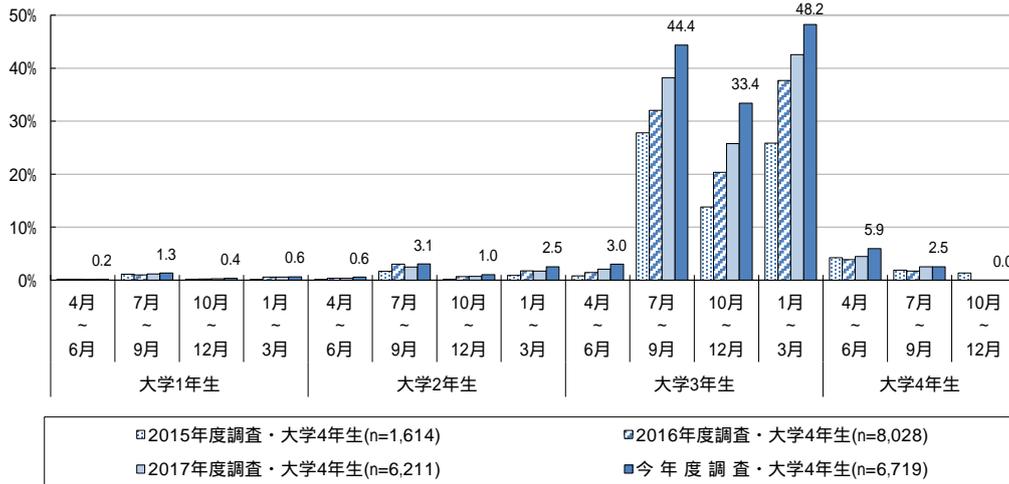


(注) インターンシップに関する設問については、2016年度調査・2017年度調査・今年度調査は「就職活動を行った(終えた)」「就職活動を行っている(継続している)」「これから就職活動を行う予定である」のいずれかを回答した者を集計対象とし、「就職活動を行わなかった(行う予定はない)」と回答した者は対象外としている。2015年度調査については「就職活動を行った」と回答した者を集計対象とし、「就職活動を行わなかった」と回答した者は対象外としている。

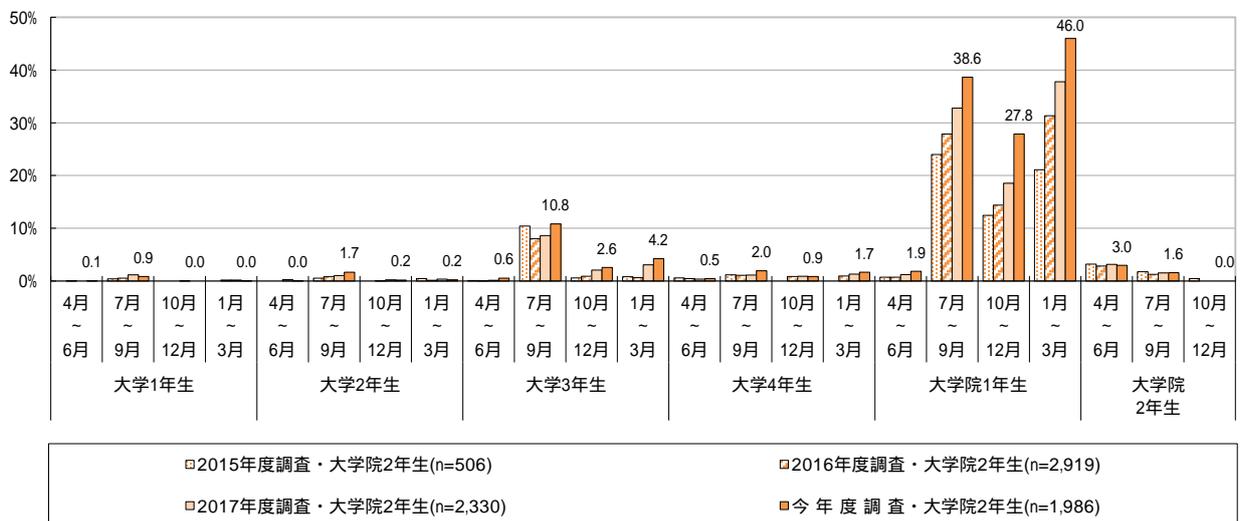
インターンシップ参加時期

インターンシップ参加の時期は、大学3年生・大学院1年生の「1月～3月」の参加割合が最も高く、次いで大学3年生・大学院1年生の「7月～9月」の割合が高くなっている。

(大学4年生)



(大学院2年生)



(注)複数回答により参加時期を回答する設問で、回答割合を算出するにあたり、集計対象にインターンシップに参加したことがない者も含んでいる。

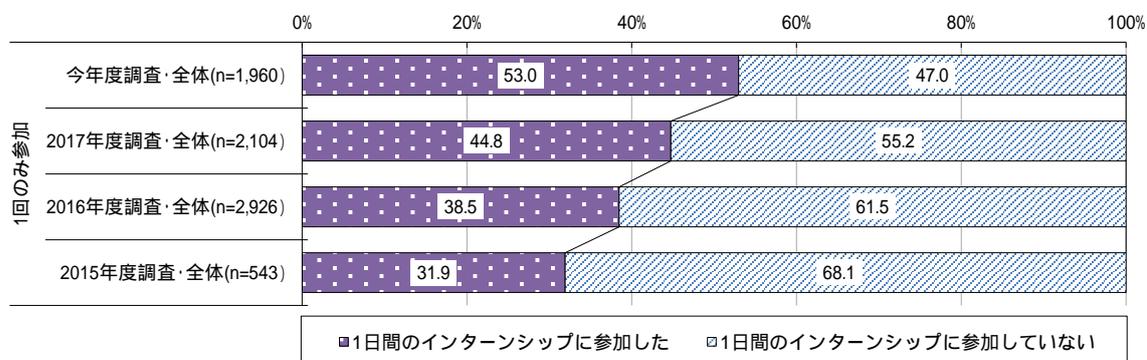
1日間のインターンシップの参加状況

インターンシップに1回のみ参加したことがある場合で参加日数が「1日」であった割合は約5割であり、2015年度以降この回答割合は増加している。

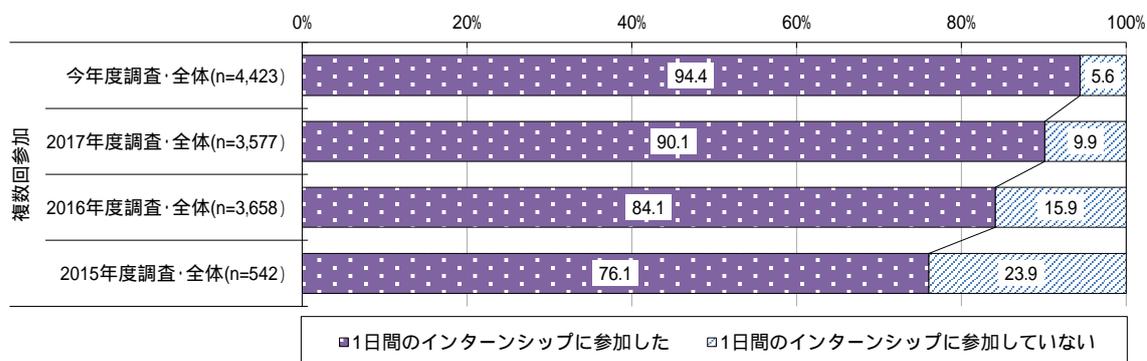
インターンシップに複数回参加したことがある場合で1日間のインターンシップに参加したことがある割合は9割以上であり、この回答割合についても、2015年度以降増加している。

なお、インターンシップへのすべての参加回数のうち、1日間のインターンシップへの参加回数が占める割合を集計すると、約7割が1日間のインターンシップであった。2017年度に比べ、この割合は増加している。

1日間のインターンシップの参加の有無
(大学4年生・大学院2年生、インターンシップに1回のみ参加)

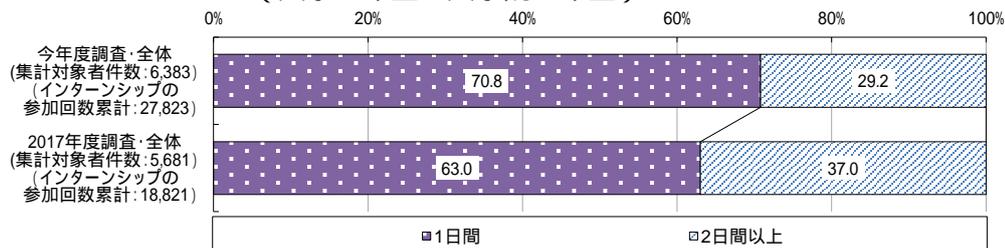


(大学4年生・大学院2年生、インターンシップに複数回参加)



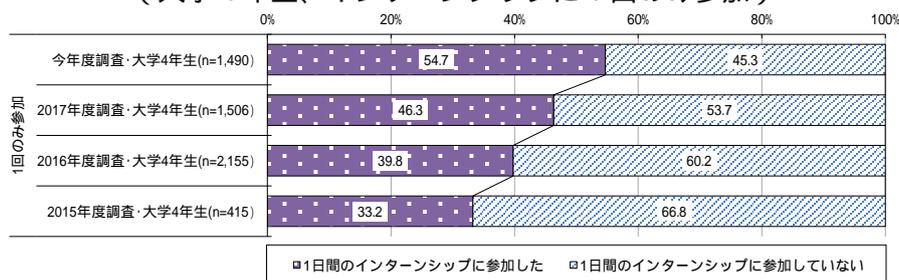
参加したインターンシップが1日間のインターンシップであった割合
(インターンシップへの参加回数累計による集計)

(大学4年生・大学院2年生)

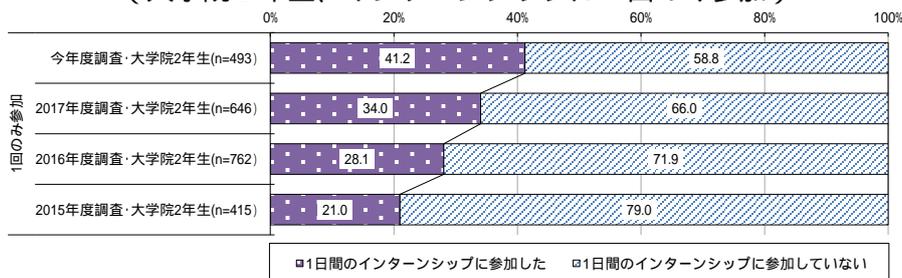


(注) 2015年度・2016年度は当該設問について調査を実施していない。

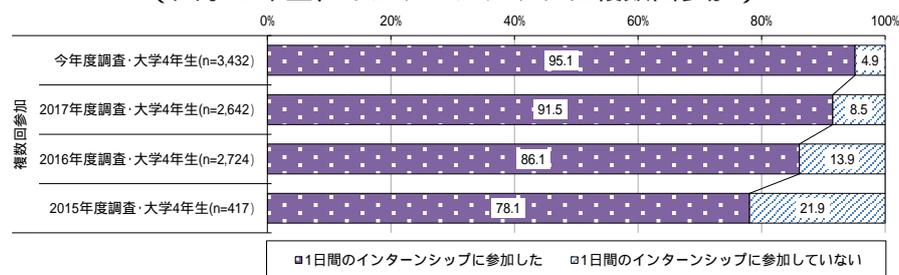
1日間のインターンシップの参加の有無 (大学4年生、インターンシップに1回のみ参加)



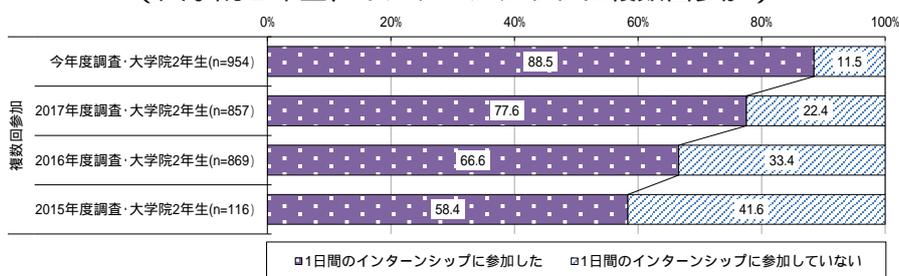
(大学院2年生、インターンシップに1回のみ参加)



(大学4年生、インターンシップに複数回参加)

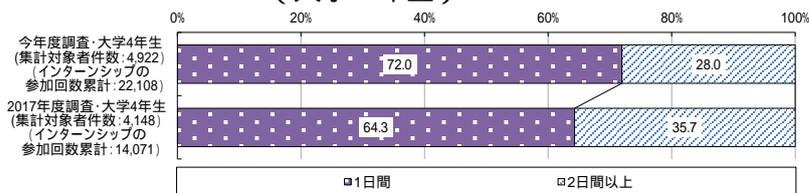


(大学院2年生、インターンシップに複数回参加)

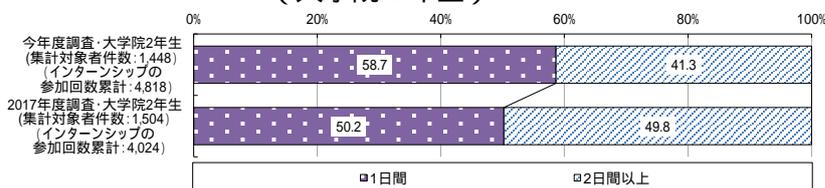


参加したインターンシップが1日間のインターンシップであった割合 (インターンシップへの参加回数累計による集計)

(大学4年生)



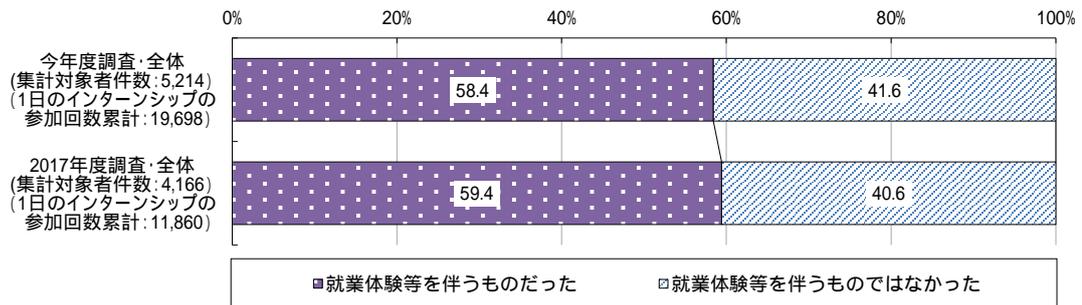
(大学院2年生)



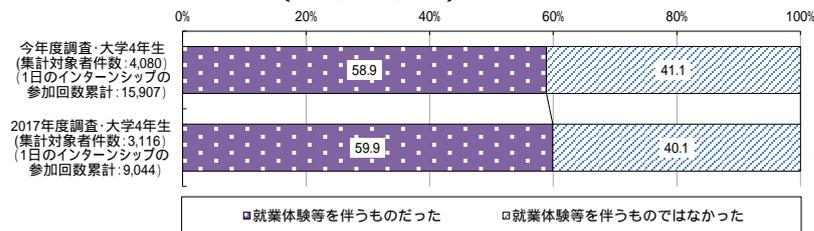
1日間のインターンシップの就業体験等との関係性

参加した1日間のインターンシップのなかで、就業体験等を伴っていなかったものの割合を集計すると、約4割が就業体験を伴わないものであり、この割合は2017年度と同程度となっている。

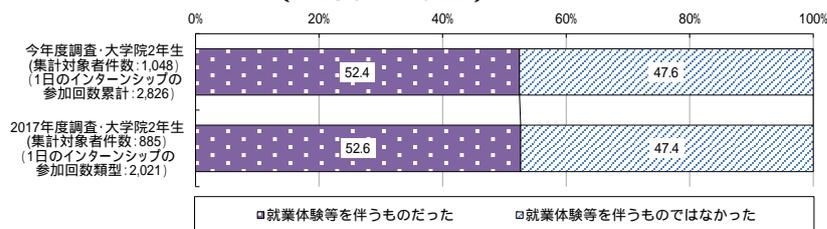
1日間のインターンシップの就業体験等との関係性
 (1日間のインターンシップへの参加回数累計による集計)
 (大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



(注) 2015年度・2016年度は当該設問について調査を実施していない。